

(財) 日本ビフィズス菌センター第 15 回腸内細菌学会  
財団設立 30 周年記念大会

メインテーマ：

『腸における共生と破たん－わかってきた腸内細菌と健康とのかかわり』

日 時 : 平成 23 年 6 月 16 日(木)・17 日(金)  
会 場 : 東京医科歯科大学 M&D タワー2 階大講堂(東京都文京区湯島 1-5-45)  
大会長 : 上野川 修一 (日本ビフィズス菌センター理事長、  
日本大学生物資源科学部食品生命学科教授)  
参加費 : 会員 6,000 円 一般 7,000 円 学生 2,000 円 (事前登録)  
会員 8,000 円 一般 9,000 円 学生 2,000 円 (当日登録)  
(予稿集会員無料配布、当日別売 1,000 円)

参加事前登録 : 平成 23 年 3 月 1 日～5 月 20 日 (金)  
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jbf/meeting/index.shtml>

お問い合わせ : 財団法人 日本ビフィズス菌センター事務局  
〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-24-12  
TEL 03-5319-2669 FAX 03-5978-4068 e-mail [jbf@ipecc-pub.co.jp](mailto:jbf@ipecc-pub.co.jp)

学会プログラム (予定)

1 日目 : 6 月 16 日 (木)

一般講演発表 9:10 ~ 15:00

日本ビフィズス菌センター設立 30 周年記念式典 15:15 ~ 17:50

設立 30 周年記念講演 (15:45~16:35)

審良 静男 (大阪大学免疫学フロンティア研究センター拠点長、大阪大学微生物病研究所教授)  
「自然免疫：認識・シグナル・応答」

懇親会 (東京ガーデンパレス) 17:50 ~ 19:30

2日目：6月17日（金）

日本ビフィズス菌センター研究奨励賞授賞式受賞講演 9：00 ～ 10：40

シンポジウム基調講演 10：50 ～ 11：40

Dr. Justin L. Sonnenburg (Stanford University School of Medicine)

「Mechanistic Insight into Intestinal Microbiota Function and Manipulation」

シンポジウム1 12:45 ～ 14:45

『腸内菌と宿主の共生—その機構と腸管免疫システムにおける役割』

1. マルチオミックス解析による宿主-腸内細菌相互作用の解明  
大野博司（理化学研究所）
2. セグメント細菌（SFB）の腸内共生における役割と宿主特異性  
今岡明美（株式会社ヤクルト本社）
3. 共生菌と腸管上皮細胞・マスト細胞との相互作用による炎症反応の制御  
高橋恭子（日本大学）
4. 腸粘膜表層と腸管組織内における免疫共生システム  
國澤 純（東京大学）

シンポジウム2 14：55 ～ 16:55

『腸内細菌と健康とのかかわり』

1. 花粉症患者の腸内細菌叢動態およびビフィズス菌摂取による影響  
小田巻俊孝（森永乳業株式会社）
2. 腸内共生菌による食物抗原に対する免疫応答の制御  
細野 朗（日本大学）
3. 腸管におけるT細胞応答における腸内共生菌の役割  
本田賢也（東京大学）
4. 腸内細菌が皮膚生理に及ぼす影響  
飯塚量子（株式会社ヤクルト本社）